



文化の日はどうしてできたの

平和を求めて、文化をすすめるためにできた

1948（昭和23）年に、「国民の祝日に関する法律」で「文化の日」が制定されました。11月3日が文化の日になった理由は、日本国憲法が公布された日にあたることに関係があります。新しい憲法には、戦争の放棄という大きな柱があります。そこで戦争を放棄し、平和を心から願い求めることによって文化をすすめる、と「国民の祝日に関する法律」では説明しています。

文化とは、自由と平和に裏付けされた、広い意味での文化を意味しています。芸術活動などをさして、文化というのがふつうですが、「文化の日」は、もっと大きな視点に立って、日本の文化をおすすめていくことをねらいにしています。

かつては明治天皇の誕生日だった

かつて11月3日は明治天皇の誕生日で、明治時代には天長節とよばれ、国民の祝日でした。明治天皇がなくなられた後、1927（昭和2）年に、明治節というようになりました。それ以後、1948（昭和23）年に文化の日がもうけられるまで、11月3日はずっと明治節とよばれました。（監修・田代 脩）

